



大盛況 新年子どもパーティー

1月8日(木)、こあら村の小さなスペースにこんなに人が入るのかというくらい大勢の方が参加してくださいました。その数なんと17組37名。お手伝いの方や放課後の小学生など含めると、50名ほどが訪れました。第1部は「おだんご作り」。お豆腐の水分でこねるレシピにへ～！小さな手でお団子をまるめる姿は真剣そのもの。お団子をゆでている間に第2部「フルーツミニコンサート」さいたま市からお招きした樺沢清子さんが、手遊びなど交えながらの楽しいひと時をプレゼントしてくださいました。アンコールの『G線上の Aria』で大人も子どもも吸い込まれるように静寂になった瞬間が印象的でした。そして、お楽しみの「おだんごバイキング」三色のお団子に移りしながらかわいくなりました。自分で作って大勢で食べる味は格別。たくさん食べてたね。またやりましょうね！

楽しい おいしい 笑顔たち



大好評連続講座「プチ手芸講座～30分で作るビーズ」

3月：バッグ（ケリー型がすてき）18日（木）10時～14時
参加費 会員 350円 一般 450円

4月：プレスレット（かわいっ！）
日時・参加費未定

1月の作品



ぼや木の記



其の3

老人力に続け、家庭力の巻

この頃放送・新聞を開けば、虐待・子殺し・親を刺したの...とカシマシイ。それだけメディアが行き届き隅々まで事件を掘り起こせるせいかもしれないが、それにしても多すぎる。

ここで、「昔の小学校では」とか云いたくはないけれど。私の頃は高学年になると、誰言うもなく「教育勅語」を暗誦できるのが、ひとつのステイタスみたいな気運があった。要するに「忠君愛國・親に孝行云々」を耳にタコ式に自分に叩き込んでしまうことになる。これが良い悪いは別として...。この頃は、携帯電話やらパソコンの用語やら新語続出で親の世代でも付いていけなかったり。「親父・親父といばるな親父・おやじ子供の成れの果て！！」

分かり合える努力もなしに「価値観の多様化」などと妙に訳知り顔で納得させて自信喪失してしまっている。そろそろ学校教育とは離れた領域で、「これだけは護るべき倫理」のために親や地域の大人が立ち上がるポリシーを持たなければ、戦後はいつまでたっても終わりのない旅にある気がする。 村長拝

ありがとう！千鳥保育園さん

～園の行事にご招待いただきました～

2003年12月3日やきいも会 [サツマイモ]

2004年2月5日やきいも会 [ジャガイモ]

2月19日ヴァイオリンコンサート

～看護師さんをお招きして保健講座を開催しました～

2月26日『春からの保健』

好評です ユーカリ茶屋

1月のユーカリ茶屋は隔月で開く、おなじみの「こあら村オルゴール」でした。キーボードと楽器の神谷さん、体操と歌の馬場さんの指導で、体操・歌それに美しい音を楽しみました。歌声は回を重ねるごとに伸びやかになっています。社会教育課から取材に見えたお二人も一緒に楽しんで下さいました。

2月は“うたとギター”の鎌田やよいさんのライブ。ケースに入ったギターを背負って自転車で颯爽と現れた鎌田さん。70年代フォークの美しい言葉とメロディーを歌い継いでいるそうですが、昭和歌謡にも注目しているそうです。当日は用意して下さいました13曲のうち『知床旅情』『早春賦』など4曲を参加者と一緒に歌いました。ライブの後は、お雛さまにちなんだお菓子をつまみながら、鎌田さんを囲んで話が弾みました。

3月は30日火曜日10時半から12時まで「こあら村オルゴール」です。4月はお箏のミニ演奏会を予定しています。お楽しみに。
(参加費:300円 申し込みはいりません)



【ぼけっとば～く のべ利用者数】	1月	大人	子ども
〔単位：人〕	2月	87	102
		86	104

編集後記

★記事でご紹介したように、こあら村には、ぼけっとば～く、ユーカリ茶屋の利用者、ボランティアなど、いろいろな世代の人々が訪れています。世代間の交流が少しずつ始まっています。こあら村が素晴らしい出会いの場になることを願っています。(A)

★最近読んだ本にこんな言葉を見つけました。『育児以上に創造性のある仕事を私は知らない』これは児童精神科医の佐々木正美さんの「ことばの森」という本に書かれていました。う～ん、言い得て妙。皆さん、楽しんで「創造」してますか？とは言っても「楽しみ方」を見失うことって誰にでもあります。そんな時には是非こあら村に足を運んでみてください。「楽しみ方」のヒントが見つかるかも。(J)

★最近町で利用者の皆さんにお声をかけていただけることが多くなり、うれしいです。ちょっと照れくさいのは「こあらのセンセイ」

